

とらすと通信
～ 営業のご報告12月号～

2018



トップメッセージ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

私から、2018年度上期の業績および今後の取り組みについてご説明します。

2018年度中間期の連結業績結果

実質業務純益

1,469 億円

親会社株主に
帰属する中間純利益

915 億円

第8期中間期

営業のご報告

2018年4月1日～2018年9月30日

- 1-4 トップメッセージ
- 5-6 特集: The Trust Bankの挑戦
- 7-8 三井住友信託銀行 店頭クローズアップ
- 9-11 サステナビリティ ～持続的な成長に向けたSDGsの活用～
- 12-14 三井住友トラスト・グループのトピックス
- 15-16 業績ハイライト
- 17 会社概要／役員／株式についてのご案内／株式の状況

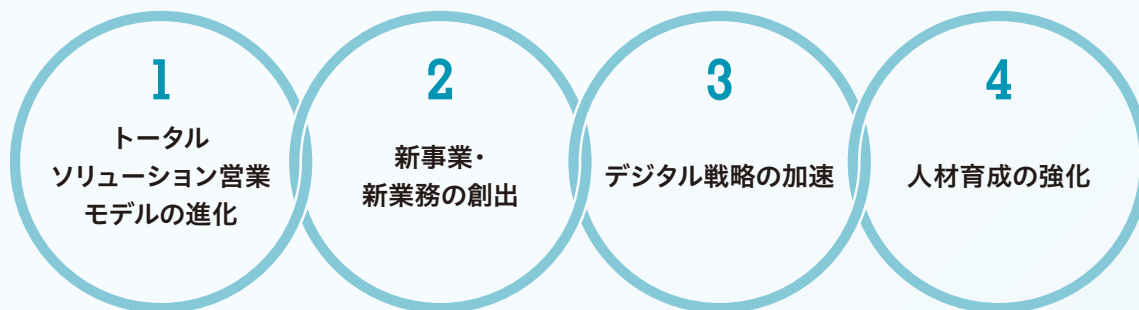


取締役執行役社長

大久保 哲夫

2018年度上期は、ビジネスモデル変革を推し進め、お客さまにベストパートナーとして選ばれる金融グループの実現を目指し、以下の四つの重点施策を定め、その具体化を着実に進めてまいりました。

四つの重点施策



具体的な取り組みとして、個人のお客さまには、経済の有望分野や成長分野を投資対象とする投資信託や、ライフステージの変化に応じて保障機能を組み替えていく保険商品の取り扱いを開始致しました。

また、法人のお客さまには、当グループが有する多様な機能を組み合わせることで、相乗効果を生み出し、コーポレートガバナンスの高度化へのサポートをはじめとする、お客さまの経営課題の解決に向けたソリューション提供を強化致しました。

資産運用業務では、三井住友信託銀行の運用事業と三井住友トラスト・アセットマネジメント(SuMiTAM)の統合を、予定通り完了致しました。資産管理業務では、日本

トラスティ・サービス信託銀行(JTSB)と資産管理サービス信託銀行(TCSB)を傘下とする中間持株会社を設立し、グループ全体の生産性の向上と効率化を推進する体制整備を進めました。

さらに、グループベースでの取り組みとしては、三井住友信託銀行と住信SBIネット銀行との間での送金手数料の無料化や、口座開設の相互受付などを開始致しました。

これらに加え、デジタル化の進展が著しい現下の環境を踏まえ、価値観や発想を変えた新たな商品・サービスを創出すべく、グループ内で未来志向のアイデア募集企画の実施などに取り組んでおります。

2018年度中間期の連結業績につきましては、実質業務純益は1,469億円、親会社株主に帰属する中間純利益は915億円となりました。

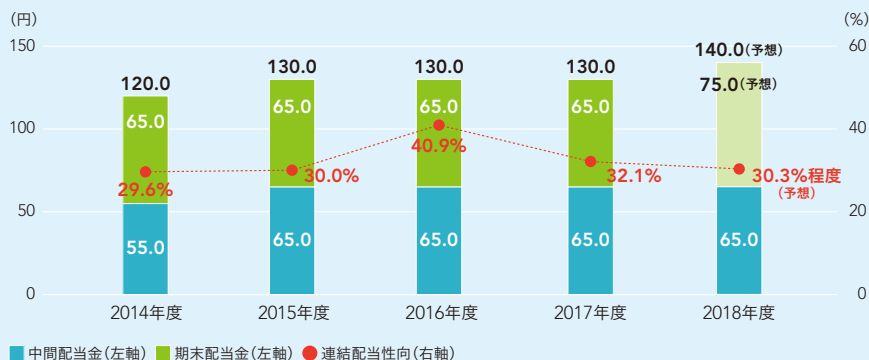
当グループは、持続的かつ安定的な成長を確実なものにするため、資産運用・資産管理等の手数料ビジネス強化、資金ビジネスの収益性向上に取り組んでおり、その結果、前年同期との比較では、手数料ビジネス等が増収となり実質業務純益は202億円増益、親会社株主に帰属する中間純利益は160億円増益となっています。計画に対しても想定を上回る進捗となっており、通期業績予想についても想定を上回る進捗となっており、通期業績予想について、親会社株主に帰属する当期純利益を100億円増益の1,750億円に上方修正しております。

2018年度の普通株式の配当金(予想)につきましては、当該業績予想を前提と致しまして、1株につき140円(うち中間配当金65円)、前年度比10円増配と修正させていただいています。

《株主還元方針》

業績に応じた株主利益還元策として、普通株式配当につき、連結配当性向30%程度を目処とする配当還元を維持しつつ、利益成長機会とのバランスや資本効率性改善効果を踏まえた自己株式取得等の実施により、中期的に、総還元性向を40%程度に段階的に引き上げ、還元の強化を目指すこととする。

1株当たり配当金と連結配当性向の推移



※ 当社は、2016年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っています。
上記のグラフは、2014年度の期首に株式併合が行われたと仮定し、配当金の推移を表記しています。

この下期は、年度初に掲げた四つの重点施策の着実な成果をお示しすることにより、株主の皆さまのご期待にお応えしてまいりたいと考えております。そのため、特に以下のテーマに注力し、さらなる変革の実行と成長の獲得を進めてまいります。

▶ **ビジネスモデル
変革の加速**

個人のお客さまには、コア運用向けの新たな投資信託や、幅広い資産承継ニーズにお応えする新型の遺言信託の導入を進め、お預かり資産の拡大に注力致します。
法人のお客さまには、資金ニーズへの適切な対応に加え、お客さまの課題を俯瞰し、グループ内に有する不動産や年金等のデータやソリューションを束ね、総合的な提案力を強化してまいります。

▶ **アセットマネジメント
ビジネスNo.1化推進**

資産運用では、グループ内に有するSuMiTAMと日興アセットマネジメントを中核とした「多彩なマルチプティック戦略」を推進し、アジアにおける資産運用のリーディング・グループとしてさらなる成長を目指してまいります。
また、資産管理では、JTSBとTCSBの統合によるスケールメリットを追求し、コスト競争力、事務品質やシステム開発力の強化を図り、お客さまの資産管理ニーズに幅広く対応してまいります。

▶ **新たな収益源の確立**

引き続き、グループ内の優れた人材の投入や育成、専任組織の強化等を通じて、デジタル戦略や革新的な商品・サービスの開発を推進致します。

▶ **人材育成
No.1化推進**

当グループの最大の資産であるさまざまな資質や能力を持つ多様な人材が、専門性・総合力・創造力を磨き続けられる仕組みづくりを強化します。

▶ **グループ経営強化**

ガバナンス体制の高度化を通じた、監督機能の強化と執行の意思決定スピードの向上を図るとともに、システム費用をはじめとするコストコントロールの強化に、グループで取り組んでまいります。

当グループは、時代の変化に柔軟に対応しながら、ビジネスモデル変革のさらなるスピードアップを図り、自らの強みとする事業領域においては、お客さまのベストパートナーとして、他の金融機関の追随を許さないステージへの成長を目指してまいりますので、今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



信託型次世代店舗のさきがけとして、2018年9月14日に開店！

三井住友信託銀行 コンサルプラザ調布

2018年9月14日、東京都の京王線調布駅前に「コンサルプラザ調布」が誕生しました。

コンサルプラザ調布は、「信託型次世代店舗のさきがけ」として今までにはない、新たな取り組みにチャレンジしています。

信託型次世代店舗コンセプト

「世代を超えて」「お客さまが集う」「信託ならではの」「コンサルフロア」

お客さまのご希望に合わせたコンサルティング機会の創出



新型次世代ブース



遠隔相談システム

店頭
に
新
端
末
を
導
入



店舗業務の効率化により…

お客さまの手続き負担を軽減
(手続き書類・記入箇所の縮減)



店頭端末機器の軽量化により…

店頭担当者が外訪実施
(店頭でもご自宅でも相談可能)

調布駅前の
街並み

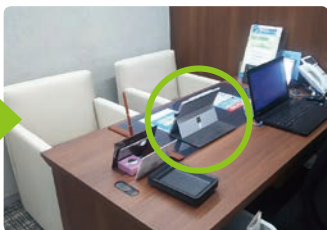


東京都調布市は多摩地域東部に位置し、その中心にある京王線「調布駅」は駅前再開発により、急速に発展を遂げています。

駅前に大型商業施設や映画館が完成し、今後ますます発展が期待される地域です。

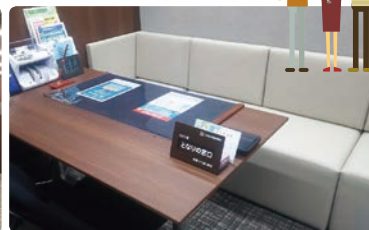
店頭到新端末を導入

店頭に多機能の新端末を導入し、重厚な装備を取り払うことで、店頭を「お手続き場所」から「ご相談空間」といたしました。



次世代ブースでは3世代のご家族さまのご相談にも対応

お子さまやお孫さまを連れた2世代、3世代にわたるお客さまにもゆったりとご相談いただけます。

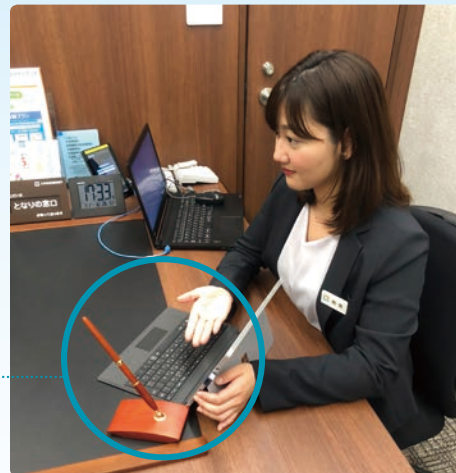


ご家族揃って資産の承継や生前贈与、相続・遺言についてご相談いただけます

🔗 お客さまの手続き負担を軽減

担当者があらかじめ入力した手続き内容を、お客さまがご確認の上、一箇所に集約された記入欄にご署名いただく流れとなり、従来に比べて複数の書類に署名捺印いただくことなくお客さまのご負担が軽減されています。

CHECK!



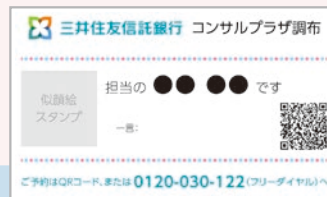
📺 WEBシステムを通じて専門家にご相談

遺言や相続および住宅ローンのご相談に関しては、遠隔拠点（新宿・新宿西口支店）の財務コンサルタントやローン担当者にWEBシステムを通じてモニター画面越しにご相談いただけるため、便利で安心です。

👤 店頭担当者によるご自宅訪問

店頭のシステム機器を軽装備化するとともに店頭業務と外訪業務のシステム共同化を実施することで店頭担当者が外訪業務も担うことが可能となりました。これにより、コンサルプラザ調布では、お客さまのご希望に応じて、店舗でもご自宅でもご希望の場所でご相談を承ることが可能です。

こんな
取り組みも…



予約専用2次元コード付き自己紹介名刺

顔スタンプと一言メッセージを入れてお渡ししています。予約専用電子メールアドレスが読み取れる2次元コードが入っており、電子メールからご来店のご予約をいただけます。

お近くにお越しの際には、ぜひ、コンサルプラザ調布にご来店ください！

三井住友信託銀行 店頭クローズアップ

支店でのさまざまな活動をご紹介します。

当グループがお客さまにとって一番身近な「信託銀行」となるよう、三井住友信託銀行の支店の特徴、地域の皆さまとの触れ合い、また、社員からお客さまへのメッセージをご紹介します。

今回は、吉祥寺支店・吉祥寺中央支店と福井支店です。両支店は、ともに今年で開店40周年を迎えました。

吉祥寺支店・吉祥寺中央支店



周辺にはショッピングやグルメのお店が充実

吉祥寺支店・吉祥寺中央支店の周辺には、百貨店や多くのグルメスポットがあるため、お客さまにはお買い物やお食事とあわせてご来店いただいております。資産運用のみならず相続・贈与など信託銀行ならではのさまざまなご相談を承っています。

地域の皆さまと交流する機会として、例年7月に開催される「吉祥寺夏まつり」に毎年参加し、今年は若手社員が中心となってスーパーボールすくい屋台を出しました。一生懸命挑戦する子供たちの姿に社員一同元気をいただきました。

吉祥寺とは…

- ・ 関東住みたい街ランキング上位、映画や小説の舞台にも登場
- ・ 井の頭恩賜公園をはじめ緑の多い街並み
- ・ 昭和の風情が色濃く残る「ハーモニカ横丁」やショッピング、グルメのお店が充実

「多くのお客さまとお会いし、私たちのサービスを知っていただく！」をモットーに、吉祥寺支店・吉祥寺中央支店は一体となってお客さまにより良いサービスをご提供できるよう努めていきます。



「支店ブログ」で支店の活動を紹介中
こちらから、地域での活動やイベント情報など取組事例がご覧になれます！



吉祥寺中央支店



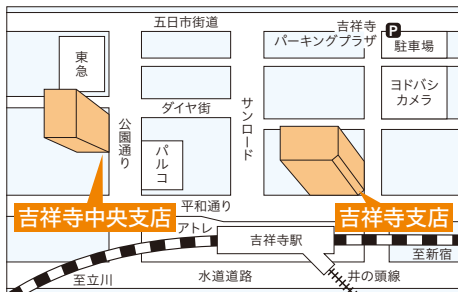
吉祥寺支店

担当者からひとこと



当店は吉祥寺がある武蔵野市だけでなく、練馬区など周辺地域から買い物を兼ねてご来店されるお客さまも多いです。これから40周年を迎えるのキャンペーン・イベント等を企画しておりますので、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

まつお ちさと
松尾 千聖



(地図左)
 吉祥寺支店
 東京都武蔵野市吉祥寺本町1丁目14番9号
 電話: (0422) 21-8631
 吉祥寺中央支店
 東京都武蔵野市吉祥寺本町2丁目2番14号
 電話: (0422) 22-3681
 (地図右)
 福井支店
 福井県福井市中央1丁目7番1号
 電話: (0776) 25-0651

福井支店



築80年超の重厚な建物でお迎えます

福井支店は、福井駅西口徒歩5分ほどに位置し、建物は1934年竣工の重厚なゴシック調で、空襲や震災にも耐え抜いた歴史的な建造物です。

県内唯一の信託銀行として県内各地のお客さまがご来店され、資産運用はもちろん、相続・贈与についてのご相談や、福井県は教育熱心な家庭が多いこともあり、教育資金贈与信託のご相談も多く承っています。

また、当店は、地域包括支援センター(福井市)より講師をお招きし、金融機関における認知症のお客さまへの接し方

福井とは…

- ・「全47都道府県幸福度ランキング2018年版」3回連続の総合ランキング首位
- ・「東尋坊」に代表される海岸の景勝、曹洞宗大本山の「永平寺」など多くの観光名所が所在
- ・福井駅西口には「恐竜王国ふくい」ならではの恐竜モニュメントを設置

を学ぶなど、お客さまが安心してご利用いただける支店づくりに取り組んでおり、「認知症にやさしいお店」として福井市より認定を受けています。



「支店ブログ」で支店の活動を紹介中

こちらから、地域での活動やイベント情報など取組事例がご覧になれます！

担当者からひとこと



当店はお子さまやお孫さまを思いやる優しいお客さまが多く、相続・贈与対策のご相談を多く承っています。お客さまのライフイベントをもとに最適なライフプランをご提案できるようこれからも努めています。

きたやま みさ
北山 未紗



福井支店



福井駅西口 恐竜広場

サステナビリティ ～持続的な成長に向けたSDGsの活用～

三井住友トラスト・グループでは、SDGsが企業の将来的なビジネスチャンスおよび持続的な成長につながるという観点から、17のゴールを念頭に置いた取り組みを行っています。

SDGsとは2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた国際目標「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」であり、グローバルな社会課題を17のゴールと169のターゲットに整理し、「地球上の誰一人取り残さない (leave no one behind)」をスローガンに、途上国から先進国まで一体となってさまざまな活動を行っています。



多様なバックグラウンドを持つ 子供たちの教育支援



今年は世界26カ国から80名の中学生が集まりました。

三井住友信託銀行では、教育を通じ、世界で活躍できるグローバルリーダーの育成を目指す軽井沢の全寮制インターナショナルスクール「ユナイテッド・ワールド・カレッジ|SAKジャパン」を支援し、サマースクールに参加する奨学生を毎年1名援助しています。同校には世界各国からさまざまなバックグラウンドを持った生徒たちが集まります。経済状況に関わらず、どんな環境の子供たちにも教育の機会が与えられるよう、今後もこの取り組みを継続します。



シニア世代の豊かな セカンドライフに向けて



各界の第一人者を講師に招いてお話しいただきます。

高齢期の住まいや認知症問題、充実した老後の過ごし方など、人生100年時代を迎え、私たちの抱える課題は山積しています。三井住友信託銀行では、シニア世代のお客さまが豊かなセカンドライフを送るための学びの場として、シルバーカレッジを開催しています。安心・安全で充実したセカンドライフを送るための必要な備えについて、複数回の講義を聴いて学んでいただいています。



家族と「働くこと」について考える きっかけづくり



当社やお金に関するクイズも出題

次世代を担う子供たちが、家族の絆・コミュニケーションを深めつつ、「社会で働く」ということについて家族で考えるきっかけとすることなどを目的として、三井住友信託銀行では、社員の家族を対象とした家族参観を実施しています。当日は、銀行業務の説明に始まり、模擬紙幣による札勘定や店頭での受付、社員との名刺交換などの業務体験のほか、オフィスや貸金庫見学などのプログラムを通じて、家族の仕事の一端に触れることができます。



「SuMi TRUSTおさかなプロジェクト」の展開



支店ロビーでのびのびと泳ぐ「イタセンパラ」

「環境・生きもの応援活動」の一環として、日本固有の生きものの保全活動に取り組んでいます。三井住友信託銀行の中部圏の支店では、環境省から認可を受け、民間企業初となる絶滅危惧種「イタセンパラ」の飼育展示をスタートさせました。このほかにも、ニッポンバラタナゴや地域固有種のメダカなどの絶滅危惧種をロビーで飼育するなど、「SuMi TRUSTおさかなプロジェクト」を全国で展開しています。



環境に配慮した街づくりの提案



三井住友信託銀行がスマートタウン評価指標（環境不動産価値）の設計を担当した藤沢サステイナブル・スマートタウン

経済の発展に伴う地球温暖化の進行や、都市域の拡大により生物多様性の毀損などの環境破壊が進んでいます。当グループでは、エネルギー効率性、資源効率性の高い都市や建築物、生産効率改善に資する建築物などの環境配慮不動産の普及拡大を目指しています。今後も、高い環境性能などがもたらす収益の向上やリスクの低減によって、不動産の価値向上に向けた取り組みを推進していきます。



企業との対話を通じて森林を守る



パーム油事業関連会社との対話

工業製品や生活必需品に幅広く使用されているパーム油は、扱いやすさや健康食品志向の高まりなどにより需要が増え、原料となるアブラヤシの植林が、熱帯森林の伐採や生物多様性減少の要因となっています。三井住友トラスト・アセットマネジメントは投資家の立場から、マレーシアのパーム油事業関連会社に対して、保護価値の高い森林の開発を行わないことなどを要請しました。

サステナビリティ ～持続的な成長に向けたSDGsの活用～

日興アセットマネジメントでは、ダイバーシティをコアバリューの一つと位置付け、多様な人材を積極的に登用するとともに、社員一人一人が多様性を理解し、誰もが働きやすい職場づくりを推進しています。



「女性のエンパワーメント原則」に賛同しました

2018年2月、LGBTコミュニティを取り巻く課題への意識向上を目指し、金融業界で働くLGBT社員支援団体「LGBTファイナンス」に加盟し、同6月には、国連グローバル・コンパクト※1とUN Women※2が女性の活躍推進に積極的に取り組むための行動原則を示した「女性のエンパワーメント原則」に賛同し、ステートメントに署名しました。

また、国連UNHCR協会※3を通じて難民の子どもたちを支援しているほか、障がい者アスリートに対する支援も継続的に推進し、車いすラグビー日本代表チームの強化や同競技の社会的認知を広めるための支援を行っています。

※1 国連本部で発足した、各企業・団体が社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組みづくりに参加する取り組み

※2 国連が設立した、United Nations Entity for Gender Equality and Empowerment of Women (ジェンダー平等と女性のエンパワーメントのための国連機関)の略称

※3 国連の難民支援機関であるUNHCR (国連難民高等弁務官事務所)の活動を支える日本の公式支援窓口



国連グローバル・コンパクト等6団体が共同開催した「女性活躍のための打鐘セレモニー」に参加

代々木公園で開催された「東京レインボープライド2018」にLGBTファイナンス加盟企業として参加



車いすラグビー世界選手権で活躍しています

日興アセットマネジメントには、車いすラグビー日本代表チームで現在キャプテンを務める池 透暢選手^{いけ ゆきのぶ}をはじめ、複数の車いすラグビー選手が社員として勤務しています。池選手は、自身の経験を語る講演会や車いすラグビーの体験学習の開催を通して、同競技をはじめとする障がい者スポーツの普及・啓蒙に努めています。



2018年8月、豪シドニーにて開催された車いすラグビー世界選手権において、日本代表チームは前回覇者のオーストラリアを決勝で下し、見事初優勝を果たしました。池選手はキャプテンとして強いリーダーシップを発揮し、チームを世界の頂点へと導きました。



池 透暢選手

世界一の目標を掲げ、今回こうして世界選手権で優勝することができ嬉しく思います。しかしながら、日本代表チームはまだ発展途上であり、自分にも課題があります。今年の世界選手権、2019年に日本で開催される世界大会「ワールドチャレンジ」、そして2020年の東京パラリンピックと、3大会連続世界一を目指して、精一杯がんばりたいと思います。

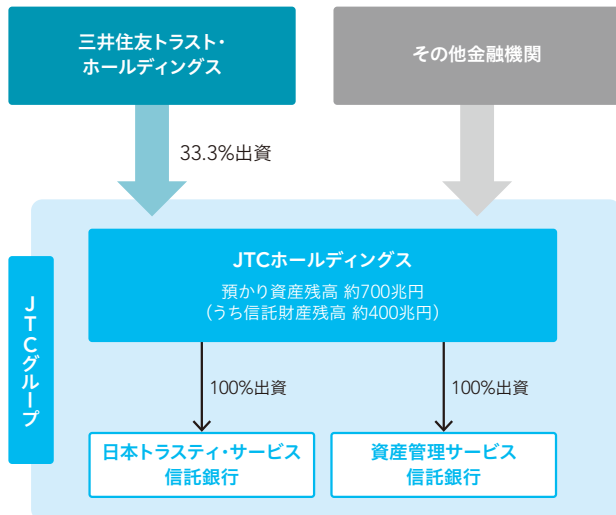
三井住友トラスト・グループのトピックス

JTCホールディングス

資産管理業務に特化した 金融持株会社の設立

JTCホールディングスは、2018年10月、日本トラスティ・サービス信託銀行および資産管理サービス信託銀行の共同株式移転により設立されました。

JTCグループは、国内トップの資産管理専門の金融グループとして、グループ内の経営資源・ノウハウを結集し、本邦の証券決済インフラを支える社会的使命を果たすとともに、資産管理業務においてお客さまの多様なニーズに幅広く応えていきます。



三井住友トラスト・アセットマネジメント

運用資産規模でアジア最大級の 運用会社としてスタート

2018年10月、三井住友トラスト・アセットマネジメントは、三井住友信託銀行の資産運用事業を統合し、運用資産規模で60兆円を超えるアジア最大級の運用会社として新たにスタートしました。

経済・市場環境が大きく変化するなか、多様な投資家のお客さまの想いにお応えする商品を開発するため、両社がこれまで培ってきた運用ノウハウを結集し、世界に広がるビジネスネットワーク、およびビジネスパートナーをきめ細かくフォローするサポート力を生かしていきます。

当グループの成長事業と位置付ける資産運用ビジネスの強化に向けてお客さま本位の業務運営を徹底していくとともに、より多くのお客さまから「中長期投資といえば三井住友トラスト・アセットマネジメント」と認められる国民的ブランド力を持った運用会社を目指していきます。



三井住友信託銀行

株式会社経営承継支援と業務・資本提携

三井住友信託銀行は2018年9月、事業承継に悩む中堅・中小企業のお客さまの支援強化を目的に、株式会社経営承継支援との間で業務・資本提携に関する契約を締結し、同社が発行する株式の23.8%を取得し、持分法適用会社としました。

我が国では、中堅・中小企業経営者の高齢化に伴う後継者不足による廃業が深刻な社会問題となっており、親族外への事業承継ニーズの拡大が想定されます。

本業務・資本提携により、顧客の相互紹介、共同セミナー開催等の協働活動を推進し、事業承継のM&Aのコンサルティングから承継後の資産運用のご支援に至るまで、お客さまのさまざまなお悩みに対し、信託銀行ならではのトータルソリューションをご提供していきます。



三井住友信託銀行



経営承継支援

日本株主データサービス

スマートフォンを活用した 議決権行使サービス「スマート行使」の提供

証券代行業務の事務を担う日本株主データサービスでは、スマートフォンを活用した議決権行使サービス「スマート行使」を開発し、三井住友トラスト・グループにおいて証券代行業務を受託している上場会社向けに、2018年6月開催の株主総会からサービスの提供を開始しました。

「スマート行使」では議決権行使書に記載された専用のQRコード®を読み取ることで、ID・パスワードを入力することなく、専用サイトで議決権を行使いただけます。2018年6月以降、三井住友トラスト・ホールディングスの株主の皆さまをはじめ、多くの株主の皆さまにご利用いただいております。第20回自動認識システム大賞※では優秀賞を受賞しました。

日本株主データサービスおよび三井住友トラスト・グループ各社では、今後も株主の皆さまの利便性向上に資する取り組みを推進していきます。

※一般社団法人日本自動認識システム協会による、先進的かつその効果が極めて顕著な自動認識関連の技術やシステムを表彰する制度

議決権行使書	お願い																																																		
<table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>																										<table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>																									

QRコード®の
読み取りのみで
ログイン完了



三井住友トラストクラブ

「ダイナースクラブ公式アプリ」が誕生

ダイナースクラブカードを展開している三井住友トラストクラブは、2018年9月に新たに「ダイナースクラブ公式アプリ」を公開しました。会員様専用オンラインサービスへの簡単アクセス、優待検索、空港ラウンジ検索はもちろん、アプリ限定のクーポンやイベント情報の配信など、ダイナースクラブをより身近に感じていただくための機能を搭載しています。会員ではない方にもダイナースクラブの世界を体験していただくために、ゲスト向けクーポンを用意していますのでぜひご利用ください。



こちらから、
アプリ登録画面に
入れます。

- 対応機種： Android OS 5.0以上のAndroid端末／iOS9.0以上のiPhone、iPad(2018年9月現在)
- ご利用方法： Google Play、App Storeで「ダイナースクラブ」と検索し、ダウンロードしてください。プロフィール登録をスキップすれば、ゲストとしてご利用いただけます。

住信SBIネット銀行

FinTech分野のサービス拡充により 業界第1位の評価を獲得

住信SBIネット銀行は今年度、「NTTコム オンライン NPS®ベンチマーク調査2018銀行部門」で昨年度に続く業界第1位の評価を獲得しました。

2007年にインターネット専門銀行として開業し、現在では330万口座・預金残高4.8兆円と地銀上位行に迫る規模にまで成長を遂げてきました。近年、特にFinTech分野でのサービス拡充に力を入れており、日本初のAPI (Application Programming Interface) 連携による家計簿サービスやロボアドバイザーによる運用商品の提供に加え、住宅ローンや中小企業向け貸出にAI審査を導入するなど、最先端の技術と金融商品を組み合わせたサービスの提供に努めています。これからも、お客さまにとって一番便利で高品質かつ革新的なサービスを提供する金融機関を目指していきます。



業績ハイライト

2018年度中間期決算の概要(連結)

	(単位: 億円)		
	2017年度 中間期	2018年度 中間期	増減
実質業務純益	1,266	1,469	202
うち資金関連利益※	954	851	△ 102
うち手数料関連利益	1,924	1,996	72
うちその他業務利益※	403	663	259
うち経費	△ 2,137	△ 2,184	△ 46
経常利益	1,177	1,403	226
親会社株主に 帰属する中間純利益	754	915	160

与信関係費用	46	133	87
--------	----	------------	----

	(単位: 億円)		
	2017年度 中間期	2018年度 中間期	増減
株主資本当期純利益率 (株主資本ROE)	7.32%	8.46%	1.14%
自己資本当期純利益率 (自己資本ROE)	6.02%	6.91%	0.89%
1株当たり中間純利益 (EPS)	円 銭 197.49	円 銭 241.31	円 銭 43.82
	2017年度	2018年度 中間期	増減
総資産	683,567	700,012	16,444
純資産	28,723	27,524	△ 1,198
1株当たり純資産 (BPS)	円 銭 6,897.36	円 銭 7,014.77	円 銭 117.41

三井住友信託銀行(単体)

信託財産残高	201兆円	205兆円	3兆円
--------	-------	--------------	-----

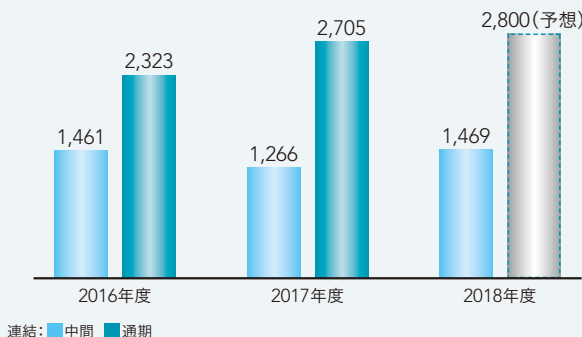
※ その他業務利益に含まれている外貨余資運用益を補正した「実質的な資金関連の損益」は、2017年度中間期1,138億円、2018年度中間期1,285億円となり、+146億円の増益となっています。

2018年度中間期振り返り

- 実質業務純益、親会社株主に帰属する中間純利益ともに公表予想を上回り、中期経営計画「第2の創業」(2017年度～2019年度)の折り返し地点としては順調な進捗
- 専業信託銀行グループとして、手数料ビジネスのさらなる強化やバランスシートの効率性・収益性追求等、ビジネスモデル変革への取り組みを継続
- 自己資本比率等は、規制要求を十分に上回る水準を継続して維持

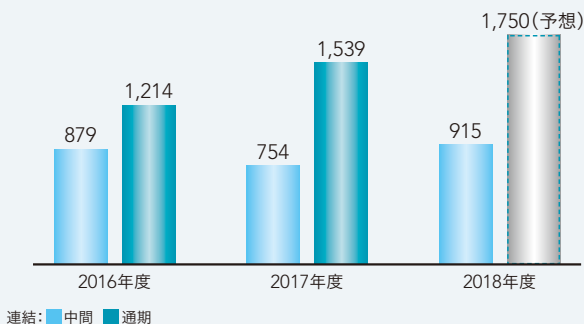
■ 実質業務純益

(億円)



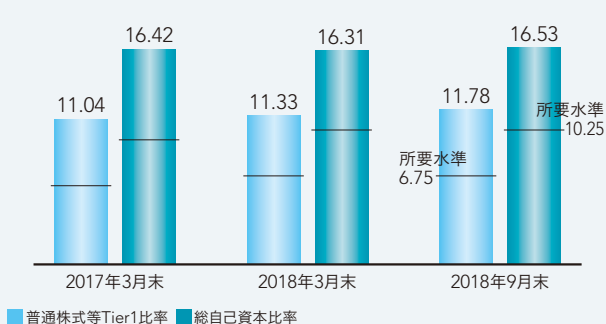
■ 親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

(億円)



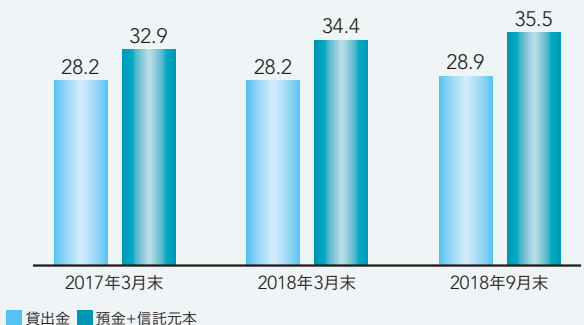
■ 自己資本比率等

(%)



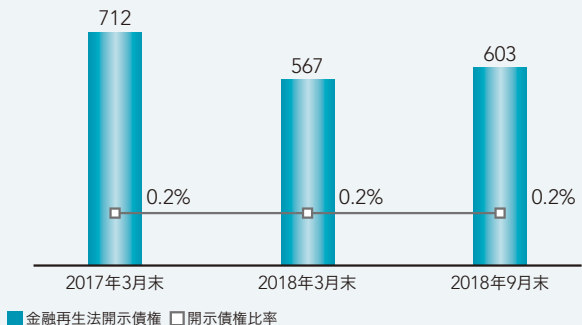
■ 貸出金・預金(三井住友信託銀行)

(兆円)



■ 金融再生法開示債権(三井住友信託銀行)

(億円)



会社概要 (2018年9月30日現在)

商 号	三井住友トラスト・ホールディングス株式会社 <英語表記:Sumitomo Mitsui Trust Holdings, Inc.>
設 立	2002年2月1日
資 本 金	2,616億872万5,000円
本 店	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 ☎ 03-6256-6000(代表)
上場証券取引所	東京(第1部)、名古屋(第1部) 証券コード:8309

役員 (2018年9月30日現在)

取締役執行役社長 (代表執行役)	おおくぼ てつお 大久保 哲夫	取締役	つねかげ ひとし 常陰 均	取締役(社外)	あらき みきお 荒木 幹夫
取締役執行役専務 (代表執行役)	あらうみ じろう 荒海 次郎	取締役	やぎ やすゆき 八木 康行	取締役(社外)	まつした いさお 松下 功夫
取締役執行役専務 (代表執行役)	たかくら とおる 高倉 透	取締役	みさわ ひろし 三澤 浩司	取締役(社外)	さいとう しんいち 齋藤 進一
取締役執行役	はしもと まさる 橋本 勝	取締役(社外)	しのはら そういち 篠原 総一	取締役(社外)	よしだ たかし 吉田 高志
取締役	きたむら くにたろう 北村 邦太郎	取締役(社外)	すずき たけし 鈴木 武	取締役(社外)	かわもと ひろこ 河本 宏子

株式についてのご案内

決算期	3月31日	株式事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ● 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ● 電話照会先 0120-782-031
配当金受領 株主確定日	期末配当金…3月31日 中間配当金…9月30日		
単元株式数	100株		
公告掲載方法	電子公告により行います。 (電子公告のサイトのURLは、 https://www.smth.jp/ です) ただし、事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、 日本経済新聞に掲載致します。	会計監査人	有限責任 あずさ監査法人

株式の状況 (2018年9月30日現在)

発行可能株式総数	890,000,000株
発行済株式の総数	普通株式…390,348,640株
株主数	普通株式…60,639名



こちらから、とらすと通信の本誌
およびバックナンバーをご覧いただけます。

経営理念(ミッション)

- (1) 高度な専門性と総合力を駆使して、お客さまにとってトータルなソリューションを迅速に提供してまいります。
- (2) 信託の受託者精神に立脚した高い自己規律に基づく健全な経営を実践し、社会からの揺るぎない信頼を確立してまいります。
- (3) 信託銀行グループならではの多彩な機能を融合した新しいビジネスモデルで独自の価値を創出し、株主の期待に応えてまいります。
- (4) 個々人の多様性と創造性が、組織の付加価値として存分に活かされ、働くことに夢と誇りとやりがいを持てる職場を提供してまいります。

目指す姿(ビジョン)

— 「The Trust Bank」の実現を目指して —

三井住友トラスト・グループは、信託の受託者精神に立脚し、高度な専門性と総合力を駆使して、銀行事業、資産運用・管理事業、不動産事業を融合した新しいビジネスモデルで独自の価値を創出する、本邦最大かつ最高のステイタスを誇る信託銀行グループとして、グローバルに飛躍してまいります。

行動規範(バリュー)

私たち、三井住友トラスト・グループの役員・社員は、グループ経営理念を実践するため、以下の6つの行動規範を遵守してまいります。

お客さま本位の徹底 一信義誠実一

私たちは、最善至高の信義誠実と信用を重んじ確実を旨とする精神をもって、お客さまの安心と満足のために行動してまいります。

社会への貢献 一奉仕開拓一

私たちは、奉仕と創意工夫による開拓の精神をもって、社会に貢献してまいります。

組織能力の発揮 一信頼創造一

私たちは、信託への熱意を共有する多様な人材の切磋琢磨と弛まぬ自己変革で、相互信頼と創造性にあふれる組織の力を発揮してまいります。

個の確立 一自助自律一

私たちは、自助自律の精神と高い当事者意識をもって、責務を全うしてまいります。

法令等の厳格な遵守

私たちは、あらゆる法令やルールを厳格に遵守し、社会規範にもとることのない企業活動を推進してまいります。

反社会的勢力への毅然とした対応

私たちは、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力に対して、毅然とした姿勢を貫いてまいります。



三井住友トラスト・ホールディングス
SUMITOMO MITSUI TRUST HOLDINGS



本冊子は環境にやさしい植物油インキと適切に管理された木材を原料としてつくられた「FSC®認証紙」を使い、「水なし印刷」で印刷しています。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



表紙写真：金沢 ひがし茶屋街